



大阪府インテリア設計士協会

〒541-0059 大阪市中央区博労町1-6-14
TEL. 06-6262-1488 FAX. 06-6262-1553
URL <http://jp-interior.or.jp/ois>
blog <http://oisblog.exblog.jp>
E-mail ois@jp-interior.or.jp

編集スタッフ

田原・石渡・広畑
河原・奥田・岡崎

インテリア 設計士 証書伝達式

葉知利書

は し り が き



証書を受け取る1級合格者の朝日さん

9月22日(土)アパヴィラホテル淀屋橋B1Fのレストラン“Kent East”で「証書伝達式」・「入会歓迎会」が行われました。合格者31名と、先生方、会員をあわせて58名の多数参加となりました。

宮後会長の祝辞、証書の授与のあと、DVDによるOISの紹介がありました。今回は特別企画として宮後会長による、パースセミナーがおこなわれました。CADが主流な時代のなか、手描きで描けることの大切さをわかりやすくお話をさせていただきました。合格者の中では熱心にメモをとっている姿が印象的でした。無事に証書伝達式が終了したあとの交流会では、テーブルごとに、合格者と会員が混ざるように着席していただいたので、交流もとりやすかったのではないかと思います。

緊張も解けて会話ははずむなか、景品豊富なビンゴゲームでさらに盛り上がりました。参加者全員へ宮後会長の額入りスケッチの絵がプレゼントされ、列をつくる人気ぶりでサイン会?が行われていました。今後のイベントにもどんどん参加をして、学びと交流を深めていただければと、切に願います。(記 広畑 直子)



↑パースセミナー・真剣な眼差しの新会員たち



ホームページ完成

念願のOISのホームページが完成しました。今後、会員の方々への情報発信のツールのひとつとして考えています。また感想をお聞かせください。

<http://www.jp-interior.or.jp/ois>

第22回 陶芸教室

～オリジナル陶芸が思いのまま～



陶芸のあとはアウトドアパーティーです。
10月20日申込締切です。お急ぎ下さい!!
(申込FAX. 06-6262-1553 OIS事務局)

【開催日】10月28日(日) 13:00～16:00
【場 所】丹波立杭“丹文窯”
【費 用】会員=2,500円/会員外=3,500円
小学生以下=2,000円 粘土追加1個につき1,000円

※詳しい内容等については事務局にお問い合わせ下さい。

今後のイベント

研修バスツアー

當麻寺と五条本町の古い町並み

【開催日】11月18日(日)
【内 容】別紙参照

日本民家集落博物館見学会 (服部緑地)

【開催日】未定・決定次第案内します





伝達式で聞いた

合格者の声

みんなで集まって何かものづくりがしたい！

乾杯の発声は SSS植田会長から



スケッチがしたい！



堀江などでインテリアや家具に囲まれたところでワイワイ飲み会をしたい！

いろいろな催しごとに参加していきたい

人との出会いを多く深めるためにも、今から積極的に行動したい。



景品ゲット！



ビンゴゲームの司会を行なう梅田常任理事(左)と奥田局長(右)

おめでとう！

第47回インテリア設計士資格検定試験が7月7日(土)・8日(日)に行なわれた。2級受験者は全国で1,203人、合格891人、そのうち大阪での合格者は82人であった。

第47回インテリア設計士資格検定試験合格者名簿

< 1級 >	朝 日 勝 彦	飯 澤 友 美(宝)	磯 本 有 里(中)	糸 川 加 奈 子(樟)	上 田 尾 幸 代(宝)	植 田 展 代(四)
< 2級 >	新 井 希(技)	飯 澤 友 美(宝)	磯 本 有 里(中)	糸 川 加 奈 子(樟)	上 田 尾 幸 代(宝)	植 田 展 代(四)
	上 野 峻(中)	坂 玲 菜(四)	大 内 麻 衣(宝)	大 江 美 穂(樟)	大 澤 新 平(宝)	大 野 雄 大(中)
	大 山 麻 衣(樟)	岡 野 友 香(宝)	岡 林 千 晶(宝)	岡 村 浅 衣(樟)	小 野 祐 哉(中)	金 元 崇 裕(中)
	大 亀 田 浩 貴(デ)	川 辺 敏 行(四)	菊 田 桃 与(聖)	木 本 沙 織(樟)	才 谷 仁 美(樟)	阪 上 裕 香(樟)
	佐 久 川 亨 也(中)	佐 々 木 容 子(教)	澤 田 江 梨(樟)	清 水 泰 明(デ)	高 垣 奈 佑(樟)	高 倉 朝 咲(樟)
	高 田 佳 奈(樟)	田 川 景 子(樟)	田 中 希(樟)	田 中 秀 幸(宝)	田 中 麻 衣(樟)	谷 田 奈 緒(宝)
	谷 野 み どり(中)	谷 史 子(樟)	田 村 明 子(樟)	辻 美 喜 子(宝)	津 山 枝 里 子(四)	TEH KHEE CHEAT(デ)
	寺 坂 奈 苗(芸)	道 前 昌 平(四)	土 肥 麻 衣 子(樟)	中 尾 真 紀(樟)	中 口 陽 里 子(樟)	中 崎 敦 子(樟)
	中 西 弘 子(樟)	長 淵 亜 里 沙(樟)	成 田 綾 佳(樟)	野 毛 亜 由 未(四)	野 田 奈 菜(樟)	乘 田 佳 津 代(樟)
	菱 川 亮 輔(修)	檜 尾 徹(宝)	平 井 淳 基(宝)	平 岡 美 咲(樟)	廣 田 敬 一(社)	福 岡 春 加(四)
	福 徳 春 野(樟)	福 山 翔 子(中)	藤 井 沙 綾 子(四)	藤 森 良 太(宝)	藤 原 伸 弥(デ)	堀 本 愛 樹(中)
	町 谷 一 香(四)	松 岡 憲 世(中)	松 本 紀 美(樟)	萬 谷 有 美 子(教)	皆 越 裕 輝(デ)	三 好 麻 衣 子(中)
	棕 本 雄 太 郎(デ)	村 井 里 恵(樟)	森 本 恵 美 加(四)	八 木 亜 樹(四)	矢 定 卓 也(京)	山 田 歩 美(中)
	山 中 勇 平(デ)	山 本 晃 司(宝)	吉 竹 章 浩(宝)	吉 中 華 奈 美(樟)		

凡例：(教)＝大阪教育大学／(芸)＝大阪芸術大学短期大学部／(技)＝大阪工業技術専門学校／(樟)＝大阪樟蔭女子大学／(デ)＝大阪デジタルテクノ専門学校
(四)＝四天王寺国際仏教大学短期大学部／(修)＝修成建設専門学校／(聖)＝聖母女学院短期大学／(京)＝京都建築大学校／(宝)＝宝塚造形芸術大学
(中)＝中央工学校OSAKA／(社)＝社会人

ビアパーティー



防犯セミナーの一コマ

平成19年7月20日、今期の総会開催場所と同じ「DEEP CUP」でビア・パーティーが開催されました。ビア・パーティーといっても、もちろんOISですからビール以外の飲み物も食べ物も豊富で、出席の皆さんの胃は大満足の一言だったと思います。特に女性陣は「漬物」に興味津々。ほんのり生姜のきいた、夏に最適の一品でした！

また、パーティーの冒頭に「防犯セミナー」があり、改めて防犯対策の重要性を知りました。大切なことは「防ぐ」こと。時間・光・音など、簡単に侵入させない、その気にさせない防犯対策が大切なようです。これは、工事現場等での安全対策にも通じるといいます。危険行為をする気にさせない、危険要因を誘引しないことが重要なのです。もちろん、工事だけでなく、日常生活でもいえることだと思いました。危険行為やミスを犯さないように注意するのではなく、する気にさせないように環境を整えることが重要なのです。そして、女性は特別に、痴漢対策も教わりました。

また、会員の方々と『今後経験したいイベント』の話やリクエストも聞くことができました。いろいろな方との交流もあり、いろいろな知識も身につけることもできて、楽しいだけでなく満喫できたビア・パーティーでした。(記 石渡 由華)

大阪湾クルーズ

平成19年8月3日、この日は台風5号の動きが気遣われたが決行された。参加者は20人、予想したより大きく美しい大阪市の広報船「夢咲」で、大阪湾クルーズを楽しんだ。台風の影響が残っており、突堤の外は波が高いため、予定されたコースのすべてをまわることはできなかったが、大阪湾の威容をほぼ見る事ができ、こんなにいろんな施設があったんだと、大阪湾に対する印象が変わった。



O I S と若きつれづれ 「前編」

森 田 求



当協会ですぐに感謝し、66歳で理事を退任した私記念の寄稿です。

大阪府立西野田工業高等学校の工業デザイン科第一期卒で、大和工業(株)創業者・寺井一勇社長兼同窓会長とOSG役員で依田商店代表・依田勇夫社長他4名で来校され卒業前の説明会で業界誌の「家具タイムズ」を1年分無料贈呈頂いたのが始まりでした。以上は18歳の強い思い出で、SSS創立の僅か2年後の記憶です。本年の創立50周年のSSS総会で、小原先生(東京高等工芸学校卒、現千葉大～京大卒)の講演では懐かしいインテリア業界の創成期が語られ、業界に関連する母校の沿革を最初に紹介します。

明治45年本科造家科・家具科の第1回卒生から大正7年本科建築装飾科の第1回卒生を加え、大正13年高級科の装飾図案科より第1回卒生を重ねて輩出。明治14年設立の東京職工学校(現東京工業大学)と東西を双壁している。また、東西の大正期輸出産業促進策の高等工芸高校の設立を基盤に、正に日本のデザイン史の潮流そのものです。洋家具や西洋建築の導入期に即応し、国力となる輸出産業の図案に対応してきた先駆的な役割が痛烈に読み取れると思います。大正5年大阪府立西野田職工学校と改称。今宮校独立。同6年造家(造作家具)科を建築科に。塗工科を建築装飾科と改称。大正11年本科5年制の高級科として、機械科50名、建築科50名、装飾図案科20名の定員で設置。昭和16年大阪府立西野田工業学校と改称。戦時中には家具科と建築装飾科を合わせて5年制の木材工芸科となったが、戦後3年制の新生工業高等学校に格落ちした。

昭和34年に木材工芸科を工業デザイン科に改称。当時の家具設計は徹底した模倣教育で、有名百貨店を定年退職された民間人代理授業が一学期間あったが、スパニッシュスタイルのプロ

の図面を初めて拝見したが、鉛筆4Bで書かれた驚異の青写真であった。当時はA1ケント紙に1/5の家具展開図面。水彩着色の三面展開家具図はB1水彩紙に徹夜で描いた思い出も深い。

卒業制作には建築への憧れもあって、ハーバートバイヤーの「成長する家族のための住宅：和風建築としての可能性」を選択し、木造矩計り図へ挑戦した。他にも、臨時講師の短期講義でパウハウスを学ぶ機会があり、後の工業デザインへの憧れを強くした。京都美術大学・彫刻科への進学を断念、三洋電機(株)入社1年後に通える距離で浪速短期大学の2部工業デザイン科を専攻したが、当時OSG会員でもあった喜多俊之氏(現大阪芸大主任教授)は1年後輩でもあり、阪神西宮駅で出会うことも多かった。後に33歳で、関西デザイン東京事務所開設の機会に、SSS東京担当室長として常任理事に就任。当時はインテリア産業審議会(小原二郎座長)の月例会に出席したこともあり、浦西正太郎SSS第二代会長に同行し通産省へ行った際、神田で別れ際に1万円札の小遣いを頂いたが、今ではラッキーな思い出である。

見学記

◆スガツネ工業(株) & (株)キンダイ◆

今回の見学会は、内装のお仕事を真剣に取り組みたいと願う方々には、ぜひ参加して頂きたかった、OISならではの価値あるものでした。

スガツネ工業(株)は1930年創業の金物、部品等では実績多き会社です。家具金物はファッションというボタンと考えると分かり易いかもかもしれません。皆さんはリーズナブルな服の安っぽいボタンを洒落たボタンに替えただけで、その服がグレードアップしたという経験はありませんか？ スガツネ工業(株)のショールームには家具のデザインが楽しくかつグレードアップできる美しい金物がたくさん展示されています。



←今回お世話をしてくださったスガツネの奥田さん(写真右)

スガツネショールームの一部



図面と実物で椅子の説明をする千坂社長(写真右)

(株)キンダイは1966年設立の、ホテルや公共施設にも多くの家具を納めている、椅子づくりのノウハウをお持ちの会社です。多く職人さんの手を経ていく工程を見ていきますと、見学前と後では出来上がった椅子への愛着が変わっていくことに気づく自分に驚きを感じます。そして、ひとつの椅子が生まれるまでの物語を、面白く語ってくださいました。(記 河原 順子)

キンダイ工場でのスナップショット



お菓子のお店を仕上げましょう! その①

仲田 貴代史 (OIS理事・仲田デザイン事務所代表)



マスク

用意するのは

- ・①の3Dソフトでつくったモデルをレタリングしたもの
- ・マスクと呼ばれるモデルの部位を単色で着色したもの

- マスクと①のレイヤーはぴったりと合わせてください。
- 選択範囲はこのマスクを使って色選択で囲ってしまうので非常に簡単です。



最終完成図

A 奥のタイルや格子などの色を替えます

色変更の選択範囲を決め、色彩・色相で色を替えます。⇒②

明度を変えたいときは明るさ、コントラストで変更しますと輝きが残ります。

B 外の壁のテクスチャーを入れましょう

スタッコ調の写真を用意し、マスクのグリーンで選択範囲を決め切り抜いています。

すると簡単にテクスチャーの貼り付けが出来ます。⇒③

ではその貼り付けをもう少し詳しく説明しましょう。

テクスチャーも、くし引きに変えました。



①

⇒
A

②

⇒
B

③

C くし引きの写真を用意します。

今回はサンプルが小さいので9枚を貼り付け一枚としています。

この時大事なのが、サンプルは正面画像(出来るだけ正面画像を用意したほうが変形しやすいので)。その画像のコーナーを貼り付ける部位のコーナーにもっていきます。⇒くし1

D くし引きのサンプルを変形の拡大縮小でその部位の範囲を含む長方形に拡大します⇒くし2

この写真はサンプルの不透明度を少し下げ、中が透けて見えるようにしています。

E 次に変形のゆがみで右端部を縮めて、部位の角に合わせます。

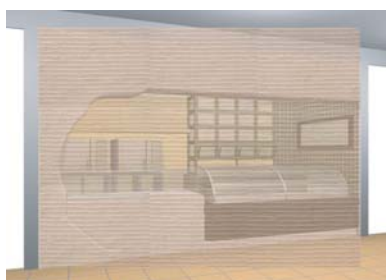
すると、くし模様がパースの織り方向にちゃんとあっていますね。

これを先程のマスクのグリーン部を色選択して選択範囲を決め、今作業していたくし引きのレイヤーで選択範囲の反転をし、つまり部位以外のところを選択し削除すると外の壁がくし引きの壁に変わりました。⇒くし3

C



くし1

⇒
D

くし2

⇒
E

くし3

今回はここまでです。次回はロゴや飾りのところを作って仕上げに向かいます。